



相談する相手は？

何か悩みがある時、皆さんは誰に相談されますか？家族、親しい友人、会社の同僚など、いろいろな相手が考えられます。しかし、どんな場合でも、この人なら分かってくれそう、親身になって考えてくれそうなどを感じながら相手を選んでいるのではないのでしょうか。換言すれば、この人だから相談できる、相談したいということだと思います。

しかし、最近は SNS で自分の悩みごとを相談する若者が見られるようになってきました。自分の悩みを投稿し、見も知らぬ誰かに答えてもらうのです。しかも結構切実な問題まで・・・

その結果、心配するふりをして言い寄ってきた相手に騙されたり、事件に巻き込まれたりするケースも出ています。

なぜ、見も知らぬ誰かに自分の悩み事を相談するのでしょうか。これは特別なケースなのでしょうか。

熊本市教育委員会の田中慎一郎指導主事によれば、高校生が多く参加したあるセミナーで前述のように SNS に自分の悩みを投稿したことがあるか尋ねたところ、ほとんどの高校生が手を挙げたと言います。

その理由を尋ねたところ、「友達に悩みの相談を持ちかけて、断られたり、面倒くさそうな対応をされたりするのが嫌だ」という趣旨の答えが返ってきたそうです。

相手の反応によって自分が傷つくのが怖い、だから極力相手に負担をかけないようにする。そんな意識や関係性が見えてきます。こういった状態ですから、気軽に、快く引き受けてくれる、見知らぬ誰かに向けて悩み事を発信するのでしょうか。しかし、それがトラブルに巻き込まれることにもつながっています。

先日、大阪府の小学6年生が SNS で知り合った男性に誘拐されるという事件が発生しました。中高生の9割以上がスマートフォンやタブレット端末などインターネットネット機器を持っていると言われていています。小学生でも多くの子どもたちが使用するようになってきました。

子どもたちが犯罪に巻き込まれたり、被害にあったりしないよう、今まで以上に危機意識を高め、適切な使い方を指導していかななくてはなりません。様々な事例をもとに注意喚起をしていかななくてはなりません。

しかし、その一方で子どもたちのコミュニケーション能力にも目を向けることが重要ではないのでしょうか。前述の悩み事の例も友達に相談できないという状況が SNS への投稿につながっています。自分の思いや考えを適切に伝える、話し合いを通して問題を解決する。そのような経験を小さい時から家庭や学校で日々積み上げていくこと、コミュニケーション能力を高めていくことの必要性を強く感じています。